

幼稚園教育, 生活科における, 子ども相互の学びをつなぐ支援の在り方
 — 子どもが発するオノマトペなどの言葉に目を向けて—

第2学年B組 生活科学習指導案

1. 単元名 「おいしくなあれ, いっぱいなあれ」

2. 指導観

〔こんな子どもだから〕

子ども達は, 育てる過程での体験などは多少の違いはあるが, 1年生の時に, 自分の鉢でアサガオを育てた, 共通の体験を持っている。その後, 各自で選択した球根を育てた体験もあり, これらの活動を通して, 身の回りの花や木の実に目を向け, 変化に気付いたりそれらを用いて遊んだりする子どもが増えてきた。また, 家庭でも, 「自分が育てている花」を持つ子が見られるようになった。しかし, 野菜に関しては, まだほとんどの子は関心がなく, 育てた体験もなく, クラスの半数の子は, アサガオのように花を楽しむ植物と野菜は, 共通項のないまったく別のものだと捉えていた。

ほとんどの子は, 自分が活動したことや願い, 活動の中で気付いたことを, 発言したり絵や文章をかいたりしてその子なりに表現することができる。しかし, まだ個々に表現することで満足し, 友達の表現を見聞きして相手に共感的な言葉を返ししながら自分の活動に取り入れていくにはまだ至っていない。

〔こんな教材で〕

実りを食すことを楽しみにして, その生長や変化を喜びつつ世話を継続することができるであろうと期待できる実なる夏野菜のうち, 比較的鉢でも育てやすく, 子ども達からも育ててみたいという声のあった「ミニトマト」「シシトウ」「オクラ」「エダマメ」から, おうちの人やお店の人と相談しながら自分の鉢に何を育てるかを決めて, 苗を購入させる。このことは, 「自分の野菜」という愛着を持って世話をしていく意欲を持続させるために有効であると同時に, 自分と一緒に生長を楽しみにし, 考えてくれる人が身近にいることに気付かせる上でも価値あると考える。

野菜は, 子ども達が一年生の時に育てたアサガオや花の球根よりも, 水のやり方・肥料の与え方・虫や鳥の被害の防ぎ方などの配慮が必要である。育てる中での悩みや願いが生じるごとに, 友達や育て方に詳しい人と交流したり本などの資料を活用したりすることを通して, それぞれの願いや野菜の種類・生長の過程に応じた世話の仕方があることに気づき, 工夫して世話をする姿が生まれてくると考える。

〔こんな子どもに〕

- どう育てたいのか、願いを明確にもち、「自分の野菜」に愛情を込めて世話を続け、その小さな変化にも気付くことができる。
- 野菜の生長を観察する中での気付き・驚きや喜び・悩みなどを、友達に伝えることを意識しながら、豊かな言葉で表現することができる。
- 自分の願いや悩みに応じて、積極的に周りの人に尋ねたり資料を探したりするなかで、それぞれの願いや野菜の種類・生長の過程に応じた世話の仕方があることに気付くと共に、自分の取り組みに自信を持ったり、工夫して世話をしている友達や人の努力に共感することができる。

〔こんな方法で〕

- 「であう」段階で、どう育てたいのか、自分の願いを明確に持たせ、おうちの人やお店の人に相談しながら、育てる苗を自分で決めて購入させることで、愛着を持って世話を続けることができるようにするとともに、困ったときに相談する相手がいることに気付かせておく。
- 「さぐる」段階では、アサガオの生長の様子と比べながら観察させていくことで、共通するところや違うところを具体的に見つけさせていき、違う種類の野菜を育てている友達の気付きを自分の野菜ではどうかと確かめるための共通のベースとしていく。
- 同じ野菜を育てている子ども同士や違う種類の野菜を育てている子たちとの気付きの交流を通して、自分の見方や気付きを更に深めさせていく。また、他の野菜を育てていく子の気付きと随時比較することができるように、子どもが書き込んでいく掲示物を常掲しておく。
- 育てている中での自分の工夫や悩みを出し合い、友達の工夫を取り入れたり、悩みを解決する方法を一緒に考えたりすることで、願いや野菜の種類・生長の過程に応じた適切な世話ができるようにする。
- 「ふかめる」段階で、自分たちが育てている野菜の生長と比較することができるように、「(大きな) トマト」「ナス」「ピーナッツ」など、畑に栽培しておく。
- 子ども達がいつでも、悩みには家族からアドバイスをもらい、家族に野菜の生長や収穫の喜びを伝えられるように、写真を撮ったり実を持ち帰らせたり、連絡帳で知らせたりなどして、家庭との連携をはかしておく。
- 自分達では分からない悩みに対してアドバイスをしてくれる人が、家族以外にもいることを子ども達に示唆しておき、必要に応じてG Tの協力を依頼する。

3. 単元目標

- 育てている野菜の変化や生長の様子に関心を持ち、願いや野菜の種類・生長の過程に応じた適切な世話を工夫し、自分の気付き・驚きや喜び・悩みなどを、友達に伝えることを意識しながら、豊かな言葉で表現することができる。

4. 指導計画

| | 学習活動と内容 | 教師の支援 | 期待する表現・言葉 |
|---------------------|--|--|---|
| で あ う | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 10px;">なつやさいをうえよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 夏に実る野菜は、どんなものがあるか、どんな野菜を育ててみたいか出し合う。 ○ 「ミニトマト」「シシトウ」「オクラ」「エダマメ」の中から一つ決めて、自分で苗を購入する。 ○ 自分が選んだ苗への願いや、その苗を選んだ理由、家族やお店の人に聞いた育て方などを出し合いながら、自分の苗を見たり触ったりして、気付きを交流する。 ○ 野菜の苗を植える。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 春に咲く花，秋に咲く花があったように，野菜にも育つ時期があること，自分の鉢で野菜を育てることを知らせる。 ○ 事前にお便りで，「おいしい実がなる」「たくさん実がつく」「じょうぶで育てやすい」という願いのうち，自分が一番に望む事は何かを考えて，家族やお店の人に相談しながら自分で選ぶことができるように，保護者に協力をお願いする。 ○ 自分の苗への思いが高められるようにする。 ○ 違う野菜を選んだ子，同じ野菜でも違う品種を選んだ子などいるので，お互いに見比べさせる。 ○ 事前にお店の人や家族に，植え方を聞いてきた子の話をもとに，植える。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 野菜について自分が知っていることを，話す。 「野菜は苗で植えたほうが，強いんだって。」 「おばあちゃんちは，夏はきゅうりがなるよ。でも，子どもにはむずかしいって言ってたよ。」 ○ なぜそれを選んだか，どんなふうに育てて欲しいかをカードに書かせる。お店の人やお家の人に尋ねたこと，自分で調べた事なども書かせておく。 「シシトウは，お父さんが好きだから。お店の人も，育てやすいって言ってたよ。家族で食べられるくらいいっぱいになって欲しい。」 「お店の人が，トマトは脇芽を摘まないといけないって，教えてくれたよ。」 ○ 「なえの土を崩さないように，根っこを切らないようにって，お店の人に習ったよ。」 「土に肥料を入れるっ |

| | | | |
|--|---|---|--|
| <p>／</p> <p>さ</p> <p>ぐ</p> <p>る</p> <p>／</p> <p>ふ</p> <p>か</p> <p>め</p> <p>る</p> | <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">なつやさいをそだてよう。</p> <p>○ 毎日の継続的な観察の中で、気付いたことや生長の喜び、困っていることなどを出し合う。</p> <p>○ 自分が世話をする上で困っていることに対して友達にアドバイスをもらったり、自分の工夫を教えたりして、今後の野菜の世話に生かす。(本時)</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">なつやさいをたべよう。</p> <p>○ できた実を収穫する。</p> <p>○ 収穫した実を使ったメニューを考え、おうちの人と作り、家族にも食べてもらう。</p> <p>○ 自分の活動を振り返る。 ・ポートフォリオ, 詩, 絵, 生長のオノマトペマップ作りなど</p> | <p>○ 朝の会や帰りの会の時間を利用する。 【関連】国語の「かんさつ名人になろう」で学習した、観察の仕方や表現方法を利用するとよいことに気付かせる。</p> <p>○ アサガオの育ちや、友達の育てている野菜と比べながら観察してみるように声を掛ける。</p> <p>○ いつでも気付きを書くことができるように、カードや掲示場所を用意しておく。 【関連】図工「見て見て」でも、自分が育てている野菜の自慢のところを表現させる。</p> <p>○ 必要に応じて、GTをお願いする。</p> <p>○ 料理カードを用意する。おうちの方へ、一緒に料理をし、感想を子どもに伝えてもらえるようにお願いをする。</p> | <p>て聞いたよ。」</p> <p>「ミニトマトは、葉っぱの表も裏も茎も、強い棘が生えていて、チクチクする。」</p> <p>「シシトウの葉っぱは、ツルツルしているね。」</p> <p>「ミニトマトの実って、ブドウの一片分みたいな付き方をして、下の枝の、上の実から赤くなるよ。」</p> <p>「オクラの花の真ん中に棒みたいなのがある。」「花の下のところが、もうオクラみたい。」</p> <p>「シシトウが花のスカートはいてる。」</p> <p>「僕のミニトマト、なかなか赤くならないんだ。」「鉢をお日様の当たる所に置いたら?」</p> <p>「実をカラスに食べられた。」「CDみたいにキラキラするのを付けるといいよ。」</p> <p>「ねえ、オクラとトマト1つずつ交換しない?」</p> <p>「私はオムレツ作ったよ。お父さんが『おいしい』って言ってくれてうれしかった。」</p> <p>「夏休みに絵を描いてきたよ。」</p> <p>「野菜のオノマトペマップ作ろうよ。」</p> |
|--|---|---|--|

5. 本時

平成17年6月29日(水曜日) 5校時 [13 / 17]

於 2のA教室

6. 本時の目標

友達の工夫を聞いたり, お互いにアドバイスをしたりしながら, 自分の野菜への愛着を更に深め, よりよい世話の仕方を考えて取り組む事ができる。

7. 本時学習の考え方

子ども達は, 「おいしい実がなる」「たくさん実がつく」「じょうぶで育てやすい」という各自の願いを持って, 家族やお店の人に相談しながら「ミニトマト」「シントウ」「オクラ」「エダマメ」の中から自分で選び, 購入してきた野菜の苗を5月17日に鉢に植えてから, 水やり・支柱立てなどの世話を続けている。日々の活動を通して, 野菜にも花が咲くことに驚く姿や, 「シントウの実が花をスカートみたいにきている。」のように表現する姿, 「オクラの花, 誰かが抜いた。」と言う子に, 「実が下にできてから(花が)抜けたんだよ。丸いのが実の元だよ。」と教え合う姿も, 少しずつではあるが, 見られるようになってきた。また, 「自分はたくさん実がなって欲しいから, EMをあげる。」「甘いトマトにするには, 骨粉がいいらしい。」「脇芽を摘むと, 大きな実になるらしい。」など, 身近な人やお店の人に尋ねてやってみて, 願いに応じた世話の仕方があるようだと感じてきた子もいる。しかしまだ, 各自の気付きや工夫は, 十分にクラス全員が共有する知恵(知的な気付き)として広がっているとは言えない。

折しも, 6月27日(月)の未明からの強風で, 鉢が倒れて枝が折れたり, せっかく大きくなりつつあった実が落ちたり, 水分が飛んで葉や枝先などがしおれてしまったりと, 「ぜひなんとか解決したい」と願う問題を, 多くの子が抱える事態になった。

そこで本時は, 大きな実が付く, 早く実るなど, 周りにうらやましがられている友達や, 虫や鳥から実を守る工夫をしている友達の育て方などを聞き, 今自分が抱えている問題の解決方法を考え, 自分が困っていることを表現して, 周りからのアドバイスを受け, 適切な世話をしようと思意欲をもって取り組んでいくようにしたい。また, 交流の中での言葉での表現を通して, 個人の気付きや工夫を, クラス全員が共有する知恵(知的な気付き)として広げていき, 今後子ども達がより積極的に, 交流し表現する姿が生まれるようにしたい。

尚, 本時の子ども達の交流だけでは解決できないような疑問や悩みが出てきた場合には, 野菜作りに詳しい方をGTにお願いし, 子どもが意欲を持続しながら世話をし, 気付きを深めていくことができるように配慮する。

8. 準備

- (子ども) → それぞれの野菜の鉢, 気付きや工夫して世話をしたことを書いたカード
- (教師) → 次の取り組みや準備を書くためのカード, お尋ねカード, 子どもの取り組みに必要なと思われる物

9. 本時の展開

| 学習活動と内容 | 教師の支援 *評価 |
|---|--|
| <p>1. 本時のめあてを確認する。</p> <p>めあて</p> <p>ともだちのちえをかりて、なやみをかいけつしよう。</p> <p>2. 自分が今困っていること、知りたいことを発表する。</p> <p>枝がいっぱい伸びていたのに、月曜日の風で、折れてしまって、実も6つも落ちてしまったのが、悲しいです。どうしたら、風に負けないようにできるか、知りたいです。</p> <p>虫がいっぱい来て、葉っぱを食べるのがいやだな。虫が来なくなる方法を知りたいな。</p> <p>3. 自分がしている工夫を話し、一緒に解決策を考える。</p> <p>ぼくは、枝をモールみたいなもので、支柱に結んでいたから、折れなかったよ。やってみたら？</p> <p>ぼくは、水やりする時、葉っぱとかじっくり裏まで見て、虫がいたらすぐに手で取るよ。ぼくが取ってやろうか？</p> <p>CDを付けている人は、なんでCDを付けているのですか？</p> <p>カラスが来ないって聞いたよ。キラキラしたものなら何でもいいんじゃないかな？</p> <p>4. 友達のアドバイスをもとに、自分が採る方法や必要なものを考え、カードに書き、できそうなことからやってみる。</p> <p>先生、モール下さい。すぐ、枝を止めたいから。明日は、CDも持ってくるぞ！</p> <p>5. 今日の学習を振り返り、工夫して世話を続けていこうとする気持ちを持つ。</p> | <p>○ 「土」「風」「虫」「鳥」「実を大きく」「早く食べたい」「実をいっぱい」「丈夫に」などの観点で整理していく。</p> <p>○ 必要に応じて、野菜を見せながら説明させる。</p> <p>* 自分の困っていることは、大きく分けると何に起因するものかを考えている。</p> <p>○ 指名して質問してよいことを知らせる。子ども達から「聞きたい」と名前が挙がった子だけではなく、「こうしたら」と考えついたことも発表させる。</p> <p>○ 実際に取り組んでいる子がいれば、実演させる。</p> <p>* 友達のことをよく見て、誰に聞けばいいか、見当を付けることができる。</p> <p>* 体験を生かし、解決策を伝えている。</p> <p>* 積極的に質問し、「何とか解決したい」という気持ちを表現することができる。</p> <p>○ 何のためにどうする、そのために何がいるなどを、子ども自身が明確に考えを持てるように、カードに書かせる。</p> <p>○ 人に尋ねる必要がある場合は、尋ねる内容を分かりやすくまとめさせる。</p> <p>* 友達のアドバイスを生かし、自分なりの工夫も加えている。</p> <p>* すぐに行動に取り掛かっている。</p> <p>○ 何のために、誰のちえをもらって、どのようにした(する)のか、発表させる。</p> |